

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」

# エコミュージアムルームだより 第48号

## 朝日町エコミュージアム30周年記念事業

### 朝日町エコミュージアムサテライトフォトコンテスト

ただいま、作品を募集しています。皆様からのたくさんのご応募お待ちしております！

■募集期間：平成31年4月～令和2年1月31日(金)  
※当日消印有効

■テーマ：朝日町エコミュージアムサテライトの四季折々の風景・祭り・暮らしなどを撮影したもの。

■応募資格：プロ・アマチュア問わず、どなたでも応募可。

■表彰：最優秀賞 1点(朝日町の特産品が買える商品券 3万円分)  
優秀賞 2点(朝日町の特産品が買える商品券 1万円分)  
入選 10点(朝日町の特産品が買える商品券 3千円分)

■発表：2月下旬予定

■問合せ先：

NPO法人朝日町エコミュージアム協会フォトコンテスト係  
TEL・FAX 0237-67-2128 ※9:00～17:00 月・木曜休み

## 朝日町エコミュージアムサテライト一覧

- ① 朝日連峰エリア…ブナ原生林 朝日鉱泉周辺 他
- ② 朝日川エリア…朝日川十景・蜜ロウソク工房 他
- ③ 空気神社エリア…空気神社・Asahi自然観周辺・奥自然観 他
- ④ 佐竹家エリア…佐竹家・十一面観音堂・水口橋跡 他
- ⑤ 八ツ沼エリア…五百川城跡・春日神社・若宮寺・旧三分校 他
- ⑥ 榎平の棚田エリア…榎平の棚田・一本松公園・ひめさゆり 他
- ⑦ 豊龍神社エリア…豊龍神社・種まき桜・ダチョウ展示圃 他
- ⑧ 館山エリア…薬師観音堂・東永寺・新宿警備所 他
- ⑨ 町のりんごエリア…町のりんご園・りんご温泉 他
- ⑩ 沢内エリア…神明神社・大天宮・送橋観音堂 他
- ⑪ 杉山と長谷地エリア…ミズバショウ・長谷地ため池・菜の花畑 他
- ⑫ 五百川峡谷エリア…舟道・旧明鏡橋・明神断崖・上郷ダム 他
- ⑬ 大沼浮島エリア…浮嶋稲荷神社・大沼の浮島・ごぜの墓 他
- ⑭ 秋葉山エリア…秋葉山・白山神社・永林寺 他
- ⑮ 大隅遺跡エリア…大隅遺跡 他
- ⑯ 町のワインエリア…朝日町ワイン城、ワイン祭り、ぶどう畑 他

※ご希望の方に「朝日町エコミュージアムガイドマップ」を配付いたします。

## 朝日町ふるさとミニ紀行 参加者募集！

### 8/11(日)「最上川を歩く～其の壱～」

荒砥から左沢までの最上川は五百川峡谷と呼ばれ、かつて最上川舟運の最大難所でした。西船渡・助ノ巻地区を散策しながら、最上川と私たちのかかわりを振り返ります。

道中では、安藤秀岳氏による最上川舟唄の披露もあります。散策後は蕎麦さんのおいしいお蕎麦などいかがでしょうか？みなさまのご参加をお待ちしております！

日時：令和元年8月11日(日) 9:00～12:00

集合場所：蕎麦(西船渡蕎麦屋)

案内人：安藤直良・井上幸弘

募集人数：15人(申込締切8/6(火)頃まで)

参加費：500円(資料・保険代)

問合せ先：朝日町エコミュージアムルーム

TEL・FAX 0237-67-2128

主催：朝日町エコミュージアム案内人の会

※昼食(実費)をご希望の方は申込時にお伝えください。

暑い時期の開催となりますので、暑さ対策をお願いいたします。



エコミュージアムの小径第19集

## 朝日町の神社・御堂「北部編」を発行しました！

「未来に伝える山形の宝」登録制度推進事業(山形県)

平成30年度は北部地区の神社・御堂をテーマに、聞き取り調査や、選定した11箇所を巡る見学会を開催しました。

このほど、事業のまとめとして冊子を作成しました。

冊子巻末には地図もついております。

既刊の「西部編」「中部編」と合わせて、冊子片手に神社・御堂巡りなどはいかがですか？

1冊 500円



# ほおずき窯について

お話 柴田 とみ子 さん

## ■ 陶芸を始めたきっかけ

この道に入ったきっかけは、たまたま陶芸作家さんのことが書いてある婦人雑誌を見たことです。当時、勤めていた仕事を辞めて、一生続けられるような仕事をしたいと考えていた時だったので「面白そうだな」と思いました。

そして、陶芸が盛んな岐阜県の大垣市とか土岐市、愛知県の瀬戸市とかに惹かれて一人旅をしました。陶器のお店を見て歩いていると、皆さん親切で、作家さんのところや、愛知県瀬戸市の窯業訓練校まで岐阜から連れて行ってくださいました。

その窯業訓練校を見学した時の帰りに、願書までいただいたので「試験を受けてみようかな」と思いました。そこでは1年間、実地はおもに「ろくろ」を、学科では焼き物の薬や土、歴史とかを習いました。その時、ろくろがとても面白くて相性が合うなと思いました。翌年からは、瀬戸市赤津の小さな窯元で2年ほど勉強しました。

瀬戸市では、窯名を人の名前とかではなくて、あざみ窯とかさつき窯とかつばき窯とか、植物の名前をつけた窯が多かったので、私は好きだった「ほおずき窯」という名前をつけました。早いもので、40年も経ってしまいました。

## ■ 作品について

おもに食器を作っていますが、植物の絵を描いたものが多いのが特徴です。

土は信楽焼きの所から、黒っぽい土や白っぽい土など何種類かを取り寄せています。

ろくろで作る方法と、ろくろを使わずに切ったもので作るたたら作り、それから猫の箸置きなどは手で作っています。

素焼き前に黒っぽい土に白い泥で絵付けしたり、掘ったりして、素焼き後に色をつけて、上薬を塗って本焼きしています。すると、上薬のガラスが溶け込んで色が出てくるわけですね。近頃は、いろんな色を付けています。



絵付けは、好きな桜などは花びらを1枚1枚描くので、手間隙がかり肩も懲りますが、細かいことをしていると落ち着きますし、嫌いではないですね。

窯は、電気窯を使っています。素焼きを720度、本焼きを1230度位まで上げて焼いています。還元焼きといって薪も入れて色合いをよくしています。

使って下さる方が料理を盛る時に、使いやすいものにしようと思って作っています。「大事に使っているよ」と言ってくると喜びを感じます。

大変なのはデザインですね。好きな植物を描いていますが、デザイン力がないので、「これを描きたいな」と思ってから、モノになるまでは、何度も試行錯誤しています。無地も好きですが、ほおずき窯っていうと絵付けっていうイメージがあるので、絵柄があったほうが好まれるようです。

最近は庭でバラ作りにはまっています。バラの絵の器もつくりはじめました。これからもこの仕事を、自然を眺めながら淡々と続けていきたいですね。

取材 / 平成31年2月17日



柴田とみ子(しばた とみこ)氏

昭和30年(1955)朝日町大滝生まれ。昭和53年(1978)愛知県立窯業訓練校入学。2年ほど瀬戸の窯で勉強。昭和56年(1981)朝日町大滝に「ほおずき窯」を開く。